



健康
医療課

広がるピンクリボン キャンペーン活動

乳がん講演会を開催

庄原市保健センターで6月30日、乳がん患者友の会「きらら」世話人の金田有美子さんを講師に迎え、乳がんの講演会を開催しました。

金田さんは、約80人が聴講する中、「輝く私であるために」と題し、乳がんを正しく理解することや早期発見・早期治療の大切さを、実体験



ピンクリボンダンス



実体験を語る金田有美子さん

をもとに分かりやすく講演。参加者は「説得力のある話で自分のこととして本気で考えることができた」と話していました。

今回の講演会は、ピンクリボン運動の一環として実施しました。

市では、4月末に「ブレストケア・ピンクリボンキャンペーン in 庄原実行委員会」を立ち上げ、乳がんを防ぎいのちを守る運動（ピンクリボン運動）を進めています。昨年度、40才、45才、50才、55才、60才になった女性の方に、乳がん検診無料クーポン券を配布するなど、検診率向上に向けた取り組みを進めていますので、皆さんも乳がん検診に行きましょう。

民生課
市生活課

犯罪や非行のない社会を願って 第60回社会を明るくする運動庄原市推進大会開催

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動、第60回社会を明るくする運動庄原市推進大会を7月10日、庄原市民会館で開催しました。

「これだけは親として伝えたい！」と題した記念講演では、講師の落語家林家染二さんが「あいさつをすること、感謝の気持ちを表すことが大切」と、約600人の聴衆に

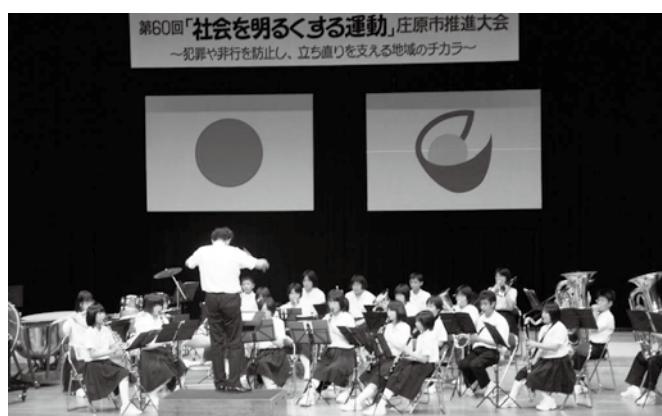


講演する林家染二さん

語り掛けました。

この他、永江太鼓演奏や比和小学校児童による合唱、東城中学校吹奏楽部が大会を盛り上げ、大会宣言「犯罪や非行のない明るく住みよい庄原市づくりを積極的に進める」を確認し閉会しました。

今後も、支え合える地域づくりを進めるため、市民の輪を広げる運動を推進します。



東城中吹奏楽部による演奏



会場を沸かす大谷由里子さん

性課 女児童

大きな笑いで元気になるう 男女共同参画笑腹フェスタ開催

男女共同参画笑腹フェスタを6月27日、庄原市ふれあいセンターで開催しました。

「ココロの元気」明日へチャレンジ」と題した講演会では、大谷由里子さんが自身の体験から得た生き方・考え方のヒントを紹介。阪神淡路大震災を経験して考え方や生き方が大きく変わり、「大変」大きく変わるチャンス「苦勞」不幸ではない」と思えるようになったことなど、心に残る言葉が参加者を引き付けました。

また、横山やすしさんのマネージャー時代のエピソードなどを交え、関西弁でテンポの良い語り口に、会場からは終始笑い声が絶えませんでした。

参加者は「元気をもらえて、来てよかった」「こんなに笑った講演は初めてだった」と笑顔で話していました。

イベント会場では、巨大ダンボール迷路や工作教室が子どもたちに大人気で、一緒に楽しむ親子連れでにぎわいました。また、スタンプラリやうたごえ喫茶、笑腹市など盛りだくさんの内容に、笑顔があふれる一日となりました。

治課 自振興

地域づくりのヒントが見つかる 自治振興関係事業活動報告集を発行

平成21年度の自治振興区活動をまとめた「自治振興関係事業活動報告集」を作成しました。

各自治振興区が取り組んだ、地域課題の解決や夢の実現に向けての活動、各種補助金の活用事例などを紹介。これからの地域づくりの参考となる一冊です。

市ホームページのほか、自治振興課や各支所地域振興室、自治振興センター、公民館などで閲覧できます。また、希望者には1冊500円で販売しています。問い合わせは自治振



A4版 35ページの報告集

興課自治振興係 ☎0824-731209まで。

城所 西支

食品、日用品そして安心を乗せて 移動販売車「あんしん号」運行開始

ウイル西城を経営する第三セクター「西城町産業振興開発株式会社」が、7月から移動販売車「あんしん号」の運行を開始しました。

高齢化率が43%を超える西城地域では、経済不況などによる地元商店の閉店などで、自家用車を運転できなければ日常の買い物も困難という地域が増えています。この事業は、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できる環境をつくることを

目的に、市が購入した車両を産業振興開発株式会社に無償貸与して実施するものです。

冷蔵設備を備えた移動販売車の品揃えは、食品や日用品など併せて約200品目。水曜日と日曜日を除く週5日、曜日ごとにコースを変えて西城町内の各地域を回りながら、高齢者や独居老人の安否確認などの情報も市へ報告する、見守りの役割も担っています。

移動販売車は、住民の生活基盤を支え、品物といっしょに安心も届けられるようにとの願いを込めて「あんしん号」と名付けられました。運行開始から1カ月、自分の目で品物を選んで買える物が楽しめるしみから、あんしん号を心待ちにする人が増えています。



買い物とおしゃべりも楽しみ